

りゅうおう 議会だより

No.164
2013. 8. 1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



上：新設されたワークマン竜王流通センター 下：増床した三井アウトレットパーク

- 平成25年第2回定例会 2~3
- 第1回臨時会・各委員会活動 4~6
- 一般質問 7~12
- いきいき人生 谷村 泰宏さん 12

平成25年 第2回定例会審議内容

平成25年第2回定例会は6月7日から20日までの14日間で開かれました。今定例会では、条例2件、補正予算6件、その他1件の9件が提案されすべて可決されました。

ほかに、平成24年度一般会計・特別会計での繰越明許費繰越計算書の報告2件および各委員会活動の報告がありました。

条例関係

竜王町子ども未来会議条例

竜王町の一人ひとりの子どもが健やかに成長することができるよう、社会環境の整備および総合的な児童福祉行政を推進するため「竜王町子ども未来会議」を設置するものです。

子ども・子育て支援施策を地域の子ども、および子育て家庭の実情を踏まえて実施するために、総合的か

つ計画的に推進する必要があります。あることから、児童福祉、教育双方の識見を持った方々の参画を得て、地域における子ども・子育て支援について審議をしていただくために条例提案がされました。

(全員賛成で可決)

竜王町職員の給与の特例に関する条例

東日本大震災を契機とした復興・復旧への積極的な取り組み、景気低迷が続く中、地域経済の活性化を図

るなどの多くの課題があり、国から平成25年度における地方公務員の給与について、国家公務員の給与と削減支給措置をふまえ、国に準じて必要な措置を取るよう要請されました。

これを受けて平成24年4月1日現在を基準としてラスパイルズ指数が一〇〇となるよう職員の給料を削減するとともに、特別職(町長・副町長・教育長)の給与月額を10%削減するため、特例条例を定めるものです。

なお、竜王町職員のラスパイルズ指数は、一〇六・

八となっています。

今回の職員給料の削減措置は、平成25年7月1日から平成26年3月31日の間、特例的に実施され、この間の職員給料の削減総額は約2千万円となります。

(賛成多数で可決)

補正予算

一般会計

補正予算(第1号)

当初予算の歳入歳出予算額62億7300万円に、1



東浦川に防護柵ほかを設置予定(西横関地先)

916万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億9216万2千円とするものです。

(全員賛成で可決)

特別会計

国民健康保険事業(事業勘定)補正予算(第1号)

当初予算の歳入歳出予算

額10億5820万円に、81万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億5901万9千円とするものです。

平成25年度税制改正による国民健康保険税の軽減特例措置の延長に伴うシステム改修費の増額です。

(全員賛成で可決)

第2回定例会

平成25年度一般会計補正予算（第1号）の主な概要

歳入		(単位 千円)
国庫支出金 社会資本整備総合交付金（道路改築）	1,693	
諸収入 健やかコミュニティモデル地区育成事業交付金	1,000	
前年度繰越金	14,978	
町債 社会資本整備事業債（道路改築）	1,500	
歳出		
総合庁舎管理事業他 13施設での電気料	5,213	
一般管理 給与システム改修委託料	987	
交通安全施設整備事業（西横関 東浦川防護柵ほか）	1,300	
地域イベント助成事業補助金	1,000	
固定資産評価替調査事業（不動産鑑定の手数料）	4,669	
風しん予防接種費用助成金 （現在婚姻中で妊娠を希望されている女性・男性、妊婦の夫が対象）	1,500	
町単独道路橋梁改良事業（松陽台安養寺線文化財調査）	3,387	

下水道事業補正予算（第1号）
当初予算の歳入歳出予算額6億4160万円に、15万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億4175万円とする

ものです。

電気料金の単価の改定による農業集落排水事業に係る処理場、ポンプ施設等の電気料の増額です。

（全員賛成で可決）

介護保険補正予算（第1号）

当初予算の歳入歳出予算額6億9580万円に、195万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億9775万円とする

万7千円とするものです。

保険給付費として居宅介護住宅改修費の増額です。

要介護1・2の被保険者からの相談が当初見込みより増加したためです。

（全員賛成で可決）

平成24年度一般・特別会計 繰越明許費・予算繰越の状況

事業名	繰越額	(単位 千円)
篠原駅周辺都市基盤整備事業	9,231	
高齢者福祉施設等整備事業	30,000	
児童福祉施設（保育所）整備事業	81,923	
町単独道路橋梁改良事業	49,450	
まちづくり交付金事業	532,920	
防災情報通信設備整備事業	20,727	
中学校施設整備事業	208,688	
竜王幼稚園施設整備事業	3,540	
特定環境保全公共下水道事業（下水道事業特別会計）	5,800	

水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出の既決予定額3億2796万4千円に360万円を追加して、3億3156万4千円に、また、資本的収入の既決予定額9080万円に720万円を追加し、9800万円に、資本的支出の既決予定額1億3675万2千円に720万円を追加し1億4395万2千円とするものです。

資本的収入については、当初予算に計上していません。

た負担金として、保育園上水道管新設工事に伴う一般会計からの負担金720万円を増額し、資本的支出については、工事請負費として保育園上水道管新設工事費720万円を増額するものです。

（全員賛成で可決）

収益的支出については、総係費として地方公営企業法の改正により新公営企業会計制度導入支援業務委託料360万円を増額するものです。



グループホーム わかすぎの丘・七里

第1回臨時会

総務産業建設常任委員会

去る4月2日に行われた臨時会において、平成25年度竜王町水道事業会計補正予算(第1号)が上程されました。

補正予算

び給水費として弓削地先の巡検橋添架配水管修繕に伴う設計委託料50万円および修繕費770万2千円、期限切れ量水器2653個の交換(修繕)費217万3千円の増額です。

(全員賛成で可決)

水道事業会計補正予算(第1号)

平成25年度竜王町水道事業会計の第三条で定めた収益的支出の既決予定額3億1758万9千円に、1037万5千円を追加し、3億2796万4千円とするものです。



巡検橋仮設配管の状況

- ・補正予算の内容は、配水および資機材の確保や整備ができていない。
- ・世帯台帳の作成や整備ができていない。
- ・資機材の確保や整備ができていない。

地域防災計画の見直しについて

平成24年7月にこの2年間にわたる地域防災計画見直し業務を業者に委託された。

平成24年度は防災アセスメント調査、平成25年度は地域防災計画の見直し素案、関連マニュアル作成等を実施される予定です。また、地域防災計画に反映させるべく、自主防災組織との意見交換も実施されました。

- ・そこで出された意見は
- ・自主防災組織が単に報告や訓練用の組織であるという現状。
- ・世帯台帳の作成や整備ができていない。
- ・資機材の確保や整備ができていない。

きていない。

・ハザードマップを配布はしているが啓発などに活用していない等でした。

地域の自主防災組織にもぜひぶん温度差があることが判明しました。

今後は、防災アセスメント調査から、過去に当町や近辺で起きた地震災害や風水害の状況や、考慮すべき活断層帯、気象、土地利用の変遷などにより被害想定され、避難計画の検討を図っていくことのほか、防災計画見直しの工程について説明を受けました。

主な質疑応答

問

地震での建物被害想定において、断層帯

により全壊や半壊棟数に大きな開きがあるが、大鳥居断層帯と南海トラフでどちらを基にして策定するか。

答

南海トラフの確率については50年以内は90%程度で、大鳥居断層帯(竜王町内にある断層帯)はマグニチュード7.1程度、発生の確率は30年以内では0.074%、50年以内では0.12%と確率が低くなっています。被害想定は大きいが発生の確率の低い大鳥居断層帯か、20〜30年以内に発生予想される南海トラフか、どちらで想定するかは今後の会議の中で検討していきます。

主な意見

自社で重機や資材を持たない業者が多い。いざという時点で間に合わないことも想定し、備蓄基地等の確

保も必要である。

上下水道課体制強化の取り組みについて

上下水道係および下水道係の事務の内容と現時点での状況について詳しく説明を受けた後、今後の体制強化に向けた課題について説明がありました。

現時点で問題解決に向けて検討している対応策は、
1 量水器の期限切れの対応は、庁内プロジェクト委員会での意見を踏まえて万全のシステムを構築します。

2 日常の報告・連絡・相談は文書化にするともに課内共通理解を図ります。

3 毎日の課内打ち合わせと同時に係単位の打ち合わせを係長中心に行進

管理のチェックを行っていきます。

4 四半期ごとの計画と進捗状況について、課長が上席への報告をする。進行が遅れているものは課内での共通理解を図り課全体での進捗を図っていきます。

5 日常業務のマニュアルを作成します。電算処理は誰でも使えるよう再構築します。

6 業務の外部委託について検討します。

7 簿記経理事務を行える

町職員が限られていることから、専門嘱託職員または事務の一部外部委託などを検討します。等と説明を受けました。

主な意見

課題に対して検討している対応策は不十分な内容なので、現時点より改善した内容の対応策を早急に議会側に提示されたい。



新(左)旧(右)の量水器

教育民生常任委員会

児童発達支援事業について

栗東市総合福祉保健センターにおいて、栗東市の発達支援について、また療育の様子について視察研修を行った後、竜王町の発達支援事業の考え方について説明を受けました。

栗東市においては、年々高まる支援ニーズに対応するため、現在ある仕組みを最大限に利用し、一人ひとりのニーズに応じて必要な支援が継続して受けられるように、「保育・教育現場と機関の協働」する仕組みを構築され、その中核的な窓口として「発達支援室」を設置されました。またシステムについても、0歳から20歳までの期間を

隙間なく各関係課が支援できる体制を整えられています。

療育については、子どもの生活年齢、発達段階、発達課題、幼児園等通園の有無などを考慮され、小集団でクラス編成をし、クラス別にプログラムを実施されている様子を見ていただきまして。

子どもたちにとって、思いっきり遊べる、お友達と出会える、自分の力を発揮できる等



視察研修の様子(栗東市)

の教室であり、保護者にとっては、子どもと遊ぶ、子どもを理解する、子どもの発達を考える等の教室づくりに力を入れておられ、竜王町において来年度から単独で実施予定の療育教室において、非常に参考となる視察をさせていただけたのではないかと考えます。

その後、竜王町児童発達支援事業について平成26年

4月開所を目指し、児童発達支援事業関係者会議を8回、児童発達支援事業準備委員会を4回それぞれ開催し、万全の体制で臨んでいきたいとの説明を受けました。

主な質疑応答

問 来々4月開所の療育事業について、職員体制はどのように考えているのか。

答 基本的に1対1の対応を考えています。子どもと保護者にとってより良い療育が実施できるよう、支援の内容や年齢に応じた体制を考えています。

主な意見

人事やハード的なことも考えると、担当課だけの課題ではない。財政局も含め、全庁的に議論を進めるよう努力されたい。

地域活性化特別委員会

(仮称) 竜王岡屋 工業団地整備事業 の状況について

1. 事業の進捗状況について

平成25年4月1日の工業団地推進課設置以降の関係先との協議等の事業の進捗状況について報告がありました。

2. 交通対策の概要について

竜王IC南交差点、岡屋交差点、国道477号整備について、それぞれ図面により、開業後の交通対策について説明を受けました。誘致企業の業種によってはさらに交通対策の協議を行う予定です。

3. 今後の予定について

① 地元地区との調整
6月16日に3地区(岡

屋・小口・山中)に対して説明会を実施し、更に6月22日には岡屋地区の住民を対象に実施。工業団地の名称については、「滋賀竜王」というものを念頭に検討中。

② 工事関係

・実施設計が最終段階に入って、夏ごろに開発許可申請手続きを進める予定。

・6月の県議会で県有地を県土地開発公社へ用地集約するための財産処分案を上程しており、会期は6月末まで。
・工事着工は10月ごろになる。

③ 企業立地の状況

・4者(町工業団地推進課、町企業誘致対策室、

県プロジェクト、県土地開発公社)による会議を6月末に開催。
・ゼネコン等への訪問、情報提供を開始すると同時に、問い合わせも来ている。

・価格、諸条件が決まれば、さらに本格的な誘致活動を行う予定。

主な質疑応答

問 企業立地について、竜王町としても誘致活動をどの様に行っているのか。

答 年1回の立地フォーラムにおいて県とともに全国に発信しています。

問 企業誘致には、道路等のインフラ整備をはじめ住宅地の確保が必要になってくるが、工業団地周辺に予定はあるのか。

答 県と竜王町で協議していきたいと考えています。

議会基本条例 推進特別委員会

5月22日に「議会報告会」を、竜王町公民館ホールにおいて午後7時30分から開催し、90名の参加をいただきました。

報告内容

① 篠原駅改築および周辺の整備について

② 町道松陽台安養寺線の新設について

③ 子育て支援について

④ (仮称) 竜王岡屋工業団地について

⑤ 三井アウトレットパーク 滋賀竜王II期増床工事について

を各委員会の委員長から報告し、引き続き意見交換に移りました。

意見交換においての、ご意見の一部を紹介すると、

各自治会長・各種団体長に「議会報告会のまとめ」を送付させていただくことを決定しました。

・竜王町は人口14000人を目指しているのに、現状は減少しているが、どう考えているのか。
・本日の参加者の中で、若者がほとんどいない、また参加者が少ないので集める方法を考えてほしい。
・竜王町には、アパートなど居住するところがなく、外に出ざるを得ない。
など、多くの貴重なご意見をちょうだいしました。

後日、議会報告会についてのまとめを行い、意見交換でいただいたご意見やアンケートの集約整理を行いました。まとめとして、町執行部および開催案内を送付させていただきました。



議会報告会の様子

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

9議員が12問

- ①「滋賀県流域治水の推進に関する条例」の制定に向けた竜王町の対応について
- ②地域ブランド「竜王」の育成について
- ③給食センターの改築等について
- ④スマホを使った情報発信について
- ⑤震災時の水道水確保について
- ⑥流域治水とまちづくりについて
- ⑦民間活力による竜王におよび周辺道路等の将来構想について
- ⑧町の環境基本条例制定に向けての取り組みについて
- ⑨竜王町の都市計画について

- 小森 重剛議員
- 山田 義明議員
- 竹山 兵司議員
- 貴多 正幸議員
- 菱田 三男議員
- 内山 英作議員
- 松浦 博 議員
- 古株 克彦議員
- 西村 公作議員

答 会議においての主な内容は、1. 条例は、「流域治水基本方針」の実効性を確保するために制定し、浸水被害から県民の生命、身体および財産を保護し、将来にわたって安心して

問 平成25年9月の滋賀県議会において「滋賀県流域治水の推進に関する条例」が上程されようとしている。
今回滋賀県より、条例の骨子案および支援制度案について関係各市町長と市町担当者に、説明会が開催されたと聞きました。
そこで、説明を受けた概要と条例に対する町としての見解および今後の対応について伺う。



小森 重剛議員

2. 条例には、知事が管理する河川の整備は引き続き計画的かつ効果的に推進することを位置づける。
3. 建築物の制限に関しては、浸水が発生した場合に著しい被害が生ずるおそれのある区域では、住宅等の新築・改築・増築時に知事の許可制度を新設する。
というものでした。
町としての見解は、あらゆる手段を講じて被害回避の対応を図っていく必要がある、「流域治水基本方針」の実効性を確保するとする条例の制定は、必要であると考えます。
今後の対応については、特に建築物の制限に関する許可制度が新

「滋賀県流域治水の推進に関する条例」の制定に向けた竜王町の対応については、安心、安全なまちづくりから、地元の方々と共に行動させていただきま

設されること、また既存住宅の建て替え時には、支援制度が準備されることなど新たな制度構築を提案されていることから、県より地元住民に説明いただく機会を設けます。
また、県に対して条例骨子案および支援制度案の内容について詳細確認を行い、対応を判断していきます。



日野川の蛇行状況（弓削地先）



山田 義明議員

問

私たちのまち竜王町は特定の施設によって知られているが、まちの地域からの発信が少なく地域力が足りない。

人口増を目指すなら、総合計画での各基本施策で向上を図るため産業は基より健康や教育、文化福祉等、日常業務において竜王方式を庁内で意識づけて実行しないと、このまちは生き残れない。特にオンラインやナンバードワンを目指し進める必要がある。

答

総合計画の基本施策に加え、まちを煌かせる取り組みとして

地域ブランド「竜王」の育成について
仕掛け等の創意工夫と横断的取り組み
とで情報発信に努めます

5つの重点プロジェクトを掲げ、各施策の充実と実行を進めています。

これまでブランドに通ずるきらりと光る施策としては行政施策や町内の皆さまの営みの中でさまざまございますが、それぞれの施策は高い評価をいただいているものの、竜王ブランドまでには結びついていないのではと感じています。

そのためには職員一人ひとりの意識付けが大切です。これらに関連付け、「竜王」として、より強く皆さんに認識いただけるように、仕掛け等の創意と工夫に加え、こうした取り組みを横断的に連携させた情報発信に努めます。



竜王町観光大使 近江うし丸

問

給食センターは、現在竜王幼稚園、西幼稚園の幼児、竜王小学校、西小学校の児童、竜王中学校の生徒等に対し、1日約1350食の給食を作っていると聞いている。

この設備、建物、施設の耐震対策は、大丈夫か？
また、新施設等、改築の計画等について伺う。

答

現在の学校給食センターは、昭和55年の中学校改築と併せて、現在地に移築され、その後、竜王西小学校、竜王西幼稚園が分離新設されることに伴い、昭和63年度に学校給食センター施設の増改築工事を行いました。

その際に、調理室・洗浄室・下処理室以外は、新耐震基準にもとづく増改築工



竹山 兵司議員

給食センターの改築等について
検討・協議を進めてまいります

事を行っております。また、平成14年度に新たに建設した炊飯棟についても新耐震基準にて増築工事を行っております。

改修と新築を行う場合との比較も考えながら、施設の整備の計画について、関係機関等も含め、検討・協議を進めてまいります。

現時点で調理室・洗浄室・下処理室は、旧耐震基準での施設でありますことから、今後、現調理室等の施設を



現在の学校給食センター

一般質問



貴多 正幸議員

問

現在、町からの情報発信、情報提供については、広報・ホームページ・有線放送などにより行われていますが、どちらかと言うと一方通行的な情報発信ではなからうかと思えます。

そこで、日本全国で4割以上のシェアを誇るスマホを中心とした、いわゆるタブレット端末による情報発信等を行ってはどうかと考えますが、町当局の考えを伺う。

答

自治体の広報・広聴メディアの柱は、広報紙とホームページであります。

童王町でも、広報紙とホームページを基幹としつつ、有線放送なども活用させていただきながら、町内外へ

スマホを使った

情報発信について

研究を進めていきます

の情報発信を行っており、従来の携帯電話では十分に閲覧できなかったホームページが手軽に閲覧できるようになったことと、また、インターネットを利用する世代が急速に拡大していることから、町の情報発信においてホームページの果たす役割は次第に大き

いものと考えています。このことから、町のホームページにあって必要とされる様々な情報が、分類整理され、使いやすい、見やすいことが、今後さらに必要であると感じております。

ご提言のとおり、スマートフォンやタブレット端末について

は、特に観光や防災の分野でその開発と提供を始めているところも出てきています。

今後、童王町におきましても、その活用について広報広聴全体のニーズ把握から、先進事例の活用方法と活用状況、メリットとデメリットなど研究を進めていきたいと考えています。



普及が進むタブレット端末

問

先日の総務産業建設常任委員会所管事務調査において説明を受けた「防災アセスメント調査結果」の中で、上水道の被害想定がされており、地震規模にもよるが地震直後で約3500戸、一週間後でも1700戸以上の断水世帯があると想定されている。

水はライフラインのうちでも最重要と認識されており、当被害想定に対する対策はどのように考えているのか伺う。

答

本年5月には中央防災会議において南海トラフ巨大地震対策の最終報告が公表され、その中で各家庭には一週間分以上の水や食料の備蓄が必要とされ、飲料水において



菱田 三男議員

震災時の水道水確保について

緊急時飲料水の量的確保は図れます。

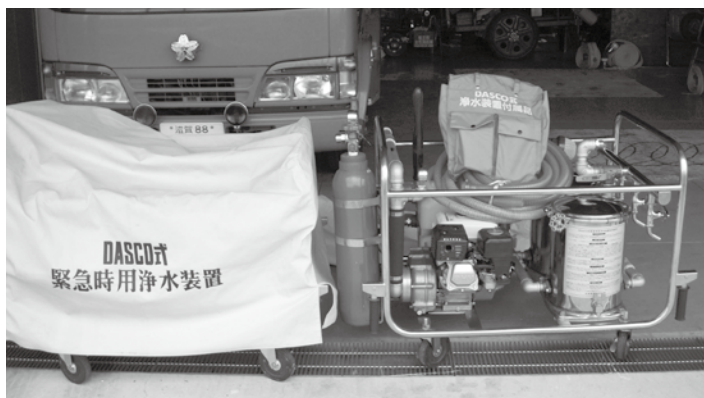
は大人一人で2ℓの備蓄が必要だと言われています。本町の水道施設においては、地震災害時の給水確保のため、山中配水池では耐震補強工事および緊急遮断弁を設置、また薬師配水池

においても緊急遮断弁を設置し、それぞれの配水池を給水拠点として、使用できるようにしています。

加えて、給水拠点からの給水車等による給水方法、輸送路および避難所の再検討が求められます。

また、災害時の飲料水対策用の装置として浄水装置2台を配備しております。

今後は、庁内災害対策本部ならびに童王町防災会議・水防協議会による十分な協議結果を踏まえ、実行性の高い地域防災計画となるよう取り組んでまいります。



緊急時に飲料水を作る装置



内山 英作議員

流域治水とまちづくりについて

日野川改修の促進を県に求めていきます。

問

県では、「滋賀県流域治水基本方針」を策定し、条例化しようとしている。竜王町においては、第五次竜王町総合計画で人口14000人を目指してまちづくりを推進しているが、次の三点について町長の考えを伺う。

- ① 町長は、県の流域治水の考えをどう思っているのか。
- ② 県の考えによる「はん濫原」は、竜王町内にどれだけ面積があり、この大きさに對してどう思っているのか。
- ③ 基本方針の中に川の中の対策もするとあるが、町長は日野川整備について十分行われていると考えているのか。

答

① 川の中の対策に加え、川の外への対策にも視点を向け、協議してさまざまな対策を講じていくとの考えは、基本的に町の考えと合致しております。

② 県が公表した地先の安全度マップを基にした算出では、市街化区域編入時の技術基準であります10年確立の降雨時、想定浸水深が0・5m以上となる面積は229haとなっております。

町としては、この被害予測結果を踏まえ、あらゆる手段を講じて被害回避の対応を

図っていく必要があると考えています。

③ 日野川の整備は、十分進んでいるとは言えませんが、引き続き県に対して日野川改修の促進、堤防強化の実施、伐竹など維持管理の強化を求めていきます。



かさ上げた家屋

問

インターチェンジや国道477号および連携する主要道路の拡大整備は喫緊の課題である。

また、周辺の土地開発については地域関係者との調整を図りながら適切な発展が望ましく、当局の将来構想について考え方を伺う。

答

自然や歴史・文化・農工商が揃った強みと、変化の時期における「チャンスを活かすたくましいまちづくり」という基本理念の中で、経済発展・地域活性化に向けた重点プロジェクトとして、名神竜王インターチェンジ周辺の土地利用、企業立地や研究開発ソフトウェアを含む産業の集積を掲げています。(その一つには、特定



松浦 博議員

民間活力による竜王ICおよび周辺道路等の将来構想について

エリアの将来構想と、「まちづくり」を一体的に進めます。

保留区域を市街化区域へ編入することも求められます。

また、開発に伴う交通インフラの強化として、インターチェンジの機能拡充や周辺ならびに広域交通ネットワークの構築を掲げており、国道477号および国道8号・1号も含め重点拠点として位置付けています。

本町を含む広域エリアでの経済発展・地域活性化に資するよう広域的構想



上空からの竜王インターチェンジ

一般質問

問 平成24年第4回定例会一般質問において、町長は「町として環境基本条例制定に向けて前向きに取り組みます。」と回答されたが、その後の経過について伺う。

答 良好な環境の保全および創造について基本理念を定めています。行政・町民・事業者ならびに通勤および観光等で本町に滞在する者の責任を明らかにするとともに、良好な環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進しようとしています。町民の健康で文化的な生活の確保に寄与するためにも、環境基本条例の制定とこの条例を具現化するための環境基本計画の策定が必要で



古株 克彦議員

町の環境基本条例制定に

向けての取り組みについて

環境基本条例および環境基本計画検討委員会を立ち上げました

去る3月7日に、庁内において「竜王町環境条例および環境基本計画検討委員会」を立ち上げました。今後、進捗状況により外部有識者を含めた審議会の設置も含め進めます。一方、E社の動向について、地域住民の不安を払拭

するには、事業者自らが施設の安全や管理運営について住民の理解を求めることが事業者の責務です。今後、竜王町としても関係自治会ならびに許可権者の滋賀県と連携を図りながら指導します。



冊子「竜王の環境」

問 当町の都市計画は昭和48年に区域区分（線引き）が行われた。その後、何度かの見直しが行われ、工業専用地域は山之上と鏡の工業団地、商業地域は竜王インター周辺、住宅地は松が丘や美松台などの団地と既存集落である。

答 町民本位のまちづくりを考えると住居地域や商業地域などを交えた都市計画になると思うが、そうでないのはなぜか？

当町は第五次竜王町総合計画で人口14000人構想を発表しているが、今の都市計画でそれが実現できるか伺う。

当町の都市計画に関する基本的な方針は都市計画マスタープ



西村 公作議員

その後、何度かの見直しが行われ、工業専用地域は山之上と鏡の工業団地、商業地域は竜王インター周辺、住宅地は松が丘や美松台などの団地と既存集落である。

町民本位のまちづくりを考えると住居地域や商業地域などを交えた都市計画になると思うが、そうでないのはなぜか？

当町は第五次竜王町総合計画で人口14000人構想を発表しているが、今の都市計画でそれが実現できるか伺う。

竜王町の都市計画について

地区計画制度により計画的なまちづくりを進めます

ランに示しています。このプランに沿って現在の都市計画によるまちづくりが進められていま

設定して、地区計画制度の活用により計画的なまちづくりを進めます。

開発許可制度の有効活用による良好な住環境エリア等、土地利用方針と構想を掲げて住民、事業者の理解を得ながら健全な都市計画の発展に努力しています。また、人口14000人構想には山之上、総合庁舎周辺、国道8号周辺において、新規の住宅団地区域を



総合庁舎周辺（小口地先）

こんな質問もしました

竹山兵司議員

問 川守地先の忠魂碑の原木伐採について

答 現地を確認いたしますと、クスノキは大木となり、このクスノキ周辺にも樹木が繁茂しておりますことから、周辺樹木の伐採を含め、一定の手入れが必要と認識しております。

今後、景観上の配慮しつつ、遺族会の代表の方や地元川守自治会の意向等を拝聴し、検討します。

貴多正幸議員

問 オフィスでバラスポールの活用を

答 職員自身が自らの健康状態を把握し、セルフコントロールを意識することが一番重要であることから、定期健診等の受診率向上に努めると

ともに事後の措置が必要な職員には医療機関等への受診を促しているところであります。

今後においては、議員から提案のありましたバラスポールについてもその活用方法の講習をするなど、休憩時間等を利用して取り組みができるよう、検討してまいりたいと考えております。

内山英作議員

問 竜王町まちづくり基本条例(自治基本条例)の制定について

答 職員や町民に向けた先進事例研修やまちづくりの実践事業を拡大しつつ、意識の醸成を図ってまいります。

いづれにせよ、町民と共有できるルールは必要でありますので、条例制定も有効な手段のひとつとしながら、竜王らしい手法を念頭に、引き続き調査研究を重ねてまいります。

シリーズ いきいき人生

美松台在住 谷村 泰宏さん

木版画でときめき！

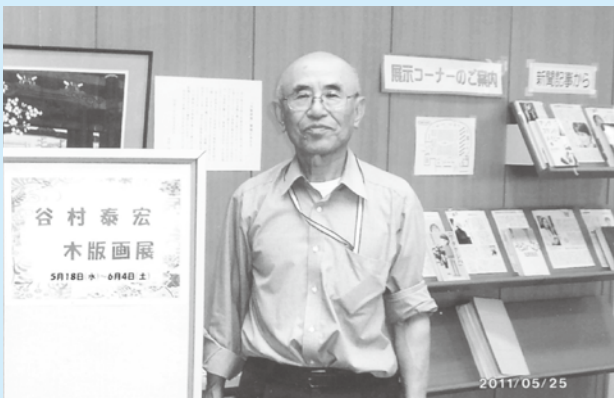
若いころから我流ですが、木版画で年賀状を作ってきました。

定年退職を機に京都のカルチャーセンターに通うなど、真面目に木版画を描き始めて16年になります。

地元滋賀を中心に四季折々の自然・風景を多色刷りで描いています。まだまだ満足できるものはできませんが、木版画の難しさ、奥深さを日々痛感しているところです。

私の木版画は「下絵を水彩画で描く」とレーシングペーパーに写す、色別に分解し版木に写す、版木を彫る、和紙に刷る」の手順を経て仕上げます。各手順工程の緊張感と苦労の上に描き終えた時、出来栄は別にして、大きな心のときめき！（達成感と感動）を覚えます。そして次への創作意欲に繋がります。

一昨年、町図書館のロビーをお借りして初めての個展を開くことがで



きました。多くの方々に見ていただき、ご批評、激励を嬉しく思いました。これからも体力が続く限り、少しでも心に残る作品作りをしていきたいと思っております。

毎年3月には、京都市美術館別館（関西版画会展）また、6月には近江八幡文化会館（アート遊覧展）に作品を出展していますので、ご観覧いただければ幸いです。

編集後記

去る5月22日、「平成25年度まちづくり事業について」をテーマに「議会報告会」を開催させていただきました。

意見交換においては、多くの貴重なご意見をちょうだいいたしました。これらのご意見を真摯に受け止め、議会運営ならびに議員活動に生かしていきたいと考えます。

今後は、さらに開かれた議会、親しまれる議会、期待される議会へと努力してまいります。

まだまだ暑い日が続きます。お体をご自愛いただき、健康で過ごしいただきまして、竜王町議会へより一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

- 議会広報特別委員会
- 委員長 内山 英作
 - 副委員長 山田 義明
 - 委員 小森 重剛
 - 貴多 正幸
 - 菱田 三男
 - 蔵口嘉寿男